

会議名	令和4年度 第4回 愛荘町の国民健康保険事業の運営に関する協議会 会議結果(概要)
開催日時	令和5年3月6日(月) 午後7時30分～午後8時25分
開催場所	愛知川庁舎 3階 第1委員会室
出席者	被保険者代表 石沼林三郎委員、関 りん委員 保険医・薬剤師代表 森野尚子委員、上林俊明委員 公益代表 林 章司、宇野久七郎委員
欠席者	保険医・薬剤師代表 武久典子委員、公益代表 小杉朝栄委員
事務局	福祉政策監 森 まゆみ 、 総務政策監 生駒秀嘉 住民課課長 越後聡美、課長補佐 久保川美晴、主任 中島愛見 税務課 係長 西川弘樹、主任 土坂英理子 健康推進課課長 木村美紀、主査 畑 あやの
傍聴者	0人
議 題	令和4年度国民健康保険事業特別会計歳入歳出予算(案) 愛荘町国民健康保険加入者の現状について 愛荘町国民健康保険条例の一部改正について
審議内容	別紙のとおり
問い合わせ先	住民課 担当 久保川 連絡先 0749-42-7692

(開会)

1) 会長あいさつ

2) 政策監あいさつ

3) 議事録署名委員の選出について

議長（会長）の指名により、石沼委員、関委員に決定。

4) 令和4年度国民健康保険事業特別会計歳入歳出予算（案）

5) 愛荘町国民健康保険条例の一部改正について

事務局説明の後、質疑・応答

- ・（委員）一般会計からの繰入金の内、福祉医療に関するものを徐々に減らしているのは、県統一になるためですか。町単独事業もあると思いますが、制度の見直しが必要になるのでしょうか。
- ・（事務局）福祉医療事業を実施していることに伴い、医療給付が増加しているため、一般会計からの繰り入れが認められていますが、繰入する金額の割合については、県で統一されていませんでした。そのため、県が示している負担の割合に統一していくべきではないかとの議論が始まっています。その中で、今回は県が示している負担割合である50%で予算計上しています。
- ・（委員）それによってサービスが減る等はあるのでしょうか。
- ・（事務局）給付が変わるということはありません。しかし、この繰入金が減った分について、今は基金等で賄うことはできますが、今後は保険税で賄っていく必要があります。
- ・（委員）延滞金が増えることになっていますが、今年の実績はどのようになっているのでしょうか。どれぐらい払えていない人がいるのかなどがわかればと思います。
- ・（事務局）今年度の決算額が今はないのですが、令和3年度の決算で400万円ほど、令和2年度の決算で360万ほど、令和元年度では340万円ほどでした。延滞金は未納があると発生してきますが、期間が伸びると膨れ上がってきます。滞納が残ったままの人がいると、延滞金が蓄積されます。
- ・（委員）繰越額ということですね。必ずしも新しい人が増えているということではなく、払えない人と払わない人がいるからということですね。
- ・（事務局）人数に増減があります。
- ・（委員）それでは、今年度の150万円は少なかったのでしょうか。
- ・（事務局）3か年の平均ですので、この数年間は少なかったのですが、増加してきたため、このような予算計上となっています。
- ・（委員）単に払わない人がいるのかと思いましたので。

- ・（事務局）滞納繰越額に関しては年々減少しています。
- ・（委員）令和4年から5年は県への納付金が4,000万円程増加となっていますが、令和3年から4年と比較すると、増加の割合は高いのでしょうか。
- ・（事務局）令和3年から4年についても、本来は納付金が増加する予定でしたが、県に剰余金があったため、納付金の増加が抑えられました。しかし、令和5年度に関しては、県の剰余金が少額のため、大幅な増加になっています。
- ・（委員）県の剰余金がなくなってきたので、市町が負担してということですね。ここまで増加する原因は何なのかと思います。今後、令和5年、6年と増加していくのか心配になります。
- ・（事務局）納付金が増額となる大きな要因は、医療給付費の増加です。
- ・（委員）新型コロナウイルス感染症の影響が減少してきているので、県の剰余金が少額であっても、今後はここまで大きな増額とならないのでしょうか。令和4年は医療費が増えてきたのかと思いますが、他にも要因があるのか心配しています。
- ・（事務局）県の納付金で考えると、ここ最近はコロナの影響もあり、大きな増減がありましたが、平均すると3%程度ずつ伸びていくであろうと県全体では推計をされています。今後大きくコロナのような状況等がなければそういった推移をしていくのではないかと見込んでいます。その増加分も合わせて保険税で賄っていく必要があります。基金の残もありますので、そのあたりを今後もこちらの運営協議会でご審議いただきたいと考えております。
- ・（委員）概要の部分で徴収員を置いていると書かれていましたが、少しは状況が良くなっているのでしょうか。コロナの関係で今まで払っていた人も払えなくなっているというニュースも見ますが、少しは滞納が減っているのか、徴収員がいても減ってきていないのかどうお考えですか。
- ・（事務局）徴収員を1名設置しています。数字的なものをはっきり言えませんが、滞納繰越額は毎年徐々に減ってきています。滞納の収納率も年々上がってきています。嘱託員の方には、滞納者への窓口対応とお支払いできていない部分の催告書の発送や滋賀県の湖東納税課と連携して、湖東分室というところに町より2名派遣しておりまして、そこと連携して滞納処分等を実施しております。実績としては減ってきております。
- ・（委員）収納率もだんだん上がってきていますよね。
- ・（事務局）現年分については、96%ほどとなっております。滞納分につきましても昔は一桁代だったものの今は20%ほどまで上がってきております。
- ・（委員）他に質疑等ありませんか。

それでは予算案となりますので、採決をとります。令和5年度国民健康保険事業特別会計歳入歳出予算（案）について賛成いただける方は挙手をお願いします

- ・（委 員）（全員挙手）

愛荘町国民健康保険加入者の現状について

事務局説明の後、質疑・応答

- ・（委 員）糖尿病の割合等が上がってきているので、透析される人が増えてくる可能性がありますね。コロナにより食生活等もかわってきていますので。特定健康診査の受診率もコロナにより下がってきていますが、特定保健指導に繋がる人が増えてきたということですね。
- ・（委 員）質疑等なければ報告事項を終わります。
その他、連絡事項等ございましたら、事務局お願いします。
- ・（事務局）（口頭・資料にて特定健康診査のアンケートの実施について報告）
- ・（委 員）他に無いようですので、本日の会議を閉じたいと思います。
委員の皆様方には長時間にわたり、ご審議いただきありがとうございます。
ありがとうございました。

（閉会）